

最近の活動報告

植林・交流会と共に協力プロジェクトを推進

8月28日から9月5日まで、学生6名を含む10名が、**Chaukkan** 村と **West Phar Saw** 村を訪問し、1000本の苗木を植林しました。MJET の今年の植林ツアーは次のような特徴がありました。

● 4大学から6名の学生が参加

今回は、法政大学、東京外国語大学、立命館大学、桜美林大学の4大学から6名の学生さんが参加しました。また、社会人も水文学や育林、経済地理といった多彩な職業のベテランが参加されました。今年は予定していた大学の学生さんが日程の都合で参加できなくなり、少数精鋭の参加となりましたが、ベテランと学生という組み合わせで、ツアーの道中でいろいろなお話しが聞けて、学生さんにとっても大変有意義な機会となりました。また、初めてミャンマーを訪問する参加者が多く、心配されましたが、一人の病人もなく、全員大いに楽しむことが出来ました。



ヤンゴンの僧院での参加者



踊りを披露する子供達

● **Chaukkan** 村と **West Phar Saw** 村で1000本を植林

Chaukkan 村は、バガン地方では一番大きな村で約400所帯、2,000人村人が住んでいます。8月31日に、村人約200人が参加して、700本を約1時間であっという間に植林しました。植林場所は2か所に分かれていましたが、学校のキャンパスでは、生徒と一緒に約70本の苗木をあっという間に終えました。

West Phar Saw 村では、数か所に分かれて、300本を村人と一緒に植林しました。



待機する **Chaukkan** 村の人達



植林中の子供達



待機中の West Phar Saw 村の人達



集会所の近くの植林

● エキサイトした Chaukkan 村と West Phar Saw 村での交流会

今年は、交流会に運動会を取り入れました。ミャンマーの子供と大人にとって、運動会は全く初めてのことで、やって見るまで何をするのかわかりませんでした。紅白二つのチームに分かれて、玉送り、二人三脚リレー、飴食い競争、電車リレー等、皆が競争して走るのが面白く、「がんばれー」、「がんばれー」の声援が飛び、興奮し、熱中しました。子供達が参加する運動会は、今後も交流会の目玉の一つとして、続けていこうと思います。



West Phar Saw 村の運動会



電車リレーで走る紅組と白組



チョーカン村の交流会で踊る子供達



植林ツアーでの一服をサクラホテルで

● 協力プロジェクトを推進

今回は植林ツアーの他に3つプロジェクトをスタートすることになりました。

◆ ゴミ収集・処理プロジェクト（インダイン村の美化キャンペーン）

今年の秋から、インダイン村では家庭のゴミを清掃すると共に、村の入り口近くのゴミ箱に集め、定期的に指定された場所に埋めるキャンペーンを始めることになりました。

た。そのために、学校でも環境教育を行います。これがうまくいけば、「インダイモンモデル」として、近隣の村々に普及する計画です。



インダイン村での説明会



村人と話し合う神田理事

◆ ネリカ米の試験栽培

Thant Sin Kyae 村では、ネリカ米の N3を11農家が自分の畑（5mx5m）に試験栽培することになりました。農業省の農業研究所の研究者が農民に試験栽培の進め方を説明し、納得した11農家が N3の種子をもらって、栽培することに合意しました。今年は雨が多く、うまく行きそうですが、11月の成熟期に気温が下がることがリスクの一つです。このため、試験栽培の結果では、抗寒冷種のイネとの交配によって、新品種を開発することも必要になるかもしれません。



ネリカ米について説明する研究者



種子を採取するために栽培された N3

◆ 小学校の理科教育の改善

MJET は Thant Sin Kyae 村の第28小学校に、3年～4年生の教科書に沿った理科の実験に必要な試験器具を寄贈しました。今後、この種の実験器具を少しずつ寄贈していく計画です。今後、これらの試験器具を使って効果的な教育方法について、学生部と先生とが工夫し相談していくことになりました。



第28小学校に実験器具を寄贈



先生達と教授法について討議

● 洪水被災者に義援金を寄贈



●7月にミャンマーを襲った大洪水の被災者に対して MJET は義援金の募金活動を行い、251,000円が寄せられました。これをパートナーの Nature Lovers を通じて、National Natural Disaster Management Committee in Naypyitaw に寄贈しました。この資金は 540F² の被災者用住宅の建設に使用される予定です。

● エコバッグをインダイン村の村人に寄贈



● (株) Integrated Development Associates から寄贈していただいた「エコバッグ」180個をインダイン村でゴミの収集・処理を目的とした「インダイン美化キャンペーン」に参加する農家全員に寄贈しました。このショッピングバッグは、弾力的でかなりの品物を入れることができます。